

syllabus ***2021***

建築科二部

学校法人 京都建築学園
京都建築専門学校

2021年度時間割

建築科二部1年前期

		月	火	水	木	金	土
			16:35～18:05 ゼミ インテリア 稲端下			15:40～17:10 ゼミ 町家1 吉田	
				《選択科目》 17:25～18:10 数学基礎 浅野			
1	18:20 ～ 19:50	設計製図1A 桐浴 中田	環境工学A 中	建築計画 香西	設計製図1A 桐浴 中田	建築一般構造 山口	意匠演習 山本 豊
2	20:00 ～ 21:30		木質材料 杉江	日本建築史 桐浴	構造力学1A 浅野	CAD情報A 山口	建築測量A 城市
《選択科目》 西洋建築史（桐浴） ——90分 半期 （遠隔・オンデマンド） 近代建築史（桐浴） ——90分 半期 （遠隔・オンデマンド）							

建築科二部1年後期

		月	火	水	木	金	土
			15:45～17:15 ゼミ 建築デザイン 魚谷	14:55～16:25 ゼミ 町家2 吉田	15:45～17:15 ゼミ 和の空間デザイン 桐浴	16:35～18:05 ゼミ 住居論 香西	
1	18:20 ～ 19:50	設計製図1B 桐浴 吉田 中田	環境工学B 中	計画演習 香西	設計製図1B 桐浴 吉田 中田	木構造 山口	インテリア デザイン 山本豊
2	20:00 ～ 21:30		建築材料 杉江	住居史 桐浴	構造力学1B 浅野	CAD情報B 山口	建築測量B 城市
≪選択科目≫ 西洋建築史（桐浴）——90分 半期（遠隔・オンデマンド） 近代建築史（桐浴）——90分 半期（遠隔・オンデマンド）							

2021年度時間割

建築科二部 2 年前期

		月	火	水	木	金	土
						16:35～18:05 ゼミ 空間論 香西	
1	18:20 ～ 19:50	建築施工法A 浜野	設計製図2 香西 円満字	鉄筋コンクリート 構造 浅野	構造力学2A 浅野	設計製図2 香西 円満字	CAD演習A 山口
2	20:00 ～ 21:30	建築積算A 浜野		建築設備A 中	建築法規A 永良		
≪選択科目≫ 西洋建築史（桐浴） ―90分 半期 （遠隔・オンデマンド） 近代建築史（桐浴） ―90分 半期 （遠隔・オンデマンド）							

建築科二部 2 年後期

		月	火	水	木	金	土
			16:35～18:05 ゼミ 二級施工管理 試験対策講座	16:35～18:05 ゼミ 二級施工管理 試験対策講座	16:35～18:05 ゼミ 二級施工管理 試験対策講座	16:35～18:05 ゼミ 住居論 香西	
1	18:20 ～ 19:50	建築施工法B 浜野	卒業設計 香西 円満字	鉄骨構造 加藤	構造力学2B 浅野	卒業設計 香西 円満字	CAD演習B 山口
2	20:00 ～ 21:30	建築積算B 浜野		建築設備B 中	建築法規B 永良		
《選択科目》							
			西洋建築史（桐浴）	——90分	半期	（遠隔・オンデマンド）	
			近代建築史（桐浴）	——90分	半期	（遠隔・オンデマンド）	

建築科二部

		科 目	必修 選択	分類	年 次		学 期		週時間	時間数合計		単 位		備 考
					1	2	前期	後期		1	2	講義	演習	
専 門 科 目	1	設 計 製 図 1 A / B	必修	1	1		前期	後期	6	234			12	
	2	設 計 製 図 2	必修	1		2	前期		8		160		8	
	3	C A D 情 報 A / B	必修	1	1		前期	後期	2	78			4	
	4	建 築 計 画	必修	2	1		前期		2	40		2		
	5	計 画 演 習	必修	2	1			後期	2	38			2	
	6	日 本 建 築 史	必修	2	1		前期		2	40		2		
	7	住 居 史	必修	2	1			後期	2	38		2		
	8	環 境 工 学 A / B	必修	3	1		前期	後期	2	78		4		
	9	建 築 設 備 A / B	必修	4		2	前期	後期	2		78	4		
	10	構 造 力 学 1 A / B	必修	5	1		前期	後期	2	78		4		
	11	構 造 力 学 2 A / B	必修	5		2	前期	後期	2		78	4		
	12	建 築 一 般 構 造	必修	6	1		前期		2	40		2		
	13	木 構 造	必修	6	1			後期	2	38		2		
	14	鉄筋コンクリート構造	必修	6		2	前期		2		40	2		
	15	鉄 骨 構 造	必修	6		2		後期	2		38	2		
	16	木 質 材 料	必修	7	1		前期		2	40		2		
	17	建 築 材 料	必修	7	1			後期	2	38		2		
	18	建築施工法 A / B	必修	8		2	前期	後期	2		78	4		
	19	建 築 積 算 A / B	必修	8		2	前期	後期	2		78	4		
	20	建 築 法 規 A / B	必修	9		2	前期	後期	2		78	4		
	21	C A D 演 習 A / B	必修	10		2	前期	後期	4		78		4	
	22	意 匠 演 習	必修	10	1		前期		2	20			1	
	23	建 築 測 量 A / B	必修	10	1		前期	後期	2	39		2		
	24	インテリアデザイン	必修	9	1			後期	2	19		1		
	25	卒 業 設 計	必修	10		2		後期	8		152		8	
	26	西 洋 建 築 史	選択	2	1		前期	後期	1	(39)		(2)		
	27	近 代 建 築 史	選択	2		2	前期	後期	1		(39)	(2)		
	28	ゼ ミ	選択		1	2	前期	後期						
履修すべき合計＜選択科目除く＞										858	858	49	39	単位数合計 88

実務経験のある教員等による授業科目

科 目	担当教員名	必修 選択	分類	年 次		学 期		週時間	時間数合計		単 位		備 考
				1	2	前期	後期		1	2	講義	演習	
C A D 情 報 A / B	山 口 英 樹	必修	1	1		前期	後期	2	78			4	
環 境 工 学 A / B	中 美 加 子	必修	3	1		前期	後期	2	78		4		
建 築 設 備 A / B	中 美 加 子	必修	4		2	前期	後期	2		78	4		
構 造 力 学 1 A / B	浅 野 清 昭	必修	5	1		前期	後期	2	78		4		
構 造 力 学 2 A / B	浅 野 清 昭	必修	5		2	前期	後期	2		78	4		
建 築 一 般 構 造	山 口 英 樹	必修	6	1		前期		2	40		2		
木 構 造	山 口 英 樹	必修	6	1			後期	2	38		2		
鉄筋コンクリート構造	浅 野 清 昭	必修	6		2	前期		2		40	2		
鉄 骨 構 造	加 藤 康 博	必修	6		2		後期	2		38	2		
木 質 材 料	杉 江 崇	必修	7	1		前期		2	40		2		
建 築 材 料	杉 江 崇	必修	7	1			後期	2	38		2		
建築施工法 A / B	濱 野 豪	必修	8		2	前期	後期	2		78	4		
建 築 積 算 A / B	濱 野 豪	必修	8		2	前期	後期	2		78	4		
建 築 法 規 A / B	永 良 勲	必修	9		2	前期	後期	2		78	4		
C A D 演 習 A / B	山 口 英 樹	必修	10		2	前期	後期	4		78		4	
意 匠 演 習	山 本 豊	必修	10	1		前期		2	20			1	
インテリアデザイン	山 本 豊	必修	9	1			後期	2	19		1		
実務経験のある教員等による授業科目									429	546	41	9	単位数合計 88

【科目名】		【履修学年】	【必修選択】	【担当教員】
1A	設計製図1A	1年前期	必修	桐浴 邦夫 (中 田 哲)
		【週時間数】	【単位数】	
		6	6	
【授業の目的】				
建築製図法と設計の基礎を学ぶ				
【授業の概要】				
製図法と木造建築の模写を通じて、建築設計の基礎を学ぶ。最後に自由設計として小住宅の設計を行う。				
【授業内容・授業計画】				
1 線の練習 2 木造住宅模写 平面図・配置図 3 木造住宅模写 断面図・立面図 4 木造建築模写 矩計図 5 木造建築模写 伏図 6 木造住宅の設計				
【成績評価】				
作品の評価に、出席状況を加味する。				
【テキスト】				
「定番 建築製図入門」(彰国社) 「コンパクト建築設計資料集成」(丸善)				
【備考】				

【科目名】		【履修学年】	【必修選択】	【担当教員】
1B	設計製図1B	1年後期	必修	桐浴 邦夫 (中 田 哲) (吉田 玲奈)
		【週時間数】	【単位数】	
		6	6	
【授業の目的】				
建築製図法と設計の基礎を学び、町家のリノベーションについても演習を行う。				
【授業の概要】				
鉄骨造建築の模写を通じて、建築設計の基礎を学ぶ。最後によしやまち町家校舎を題材として町家のリノベーションに取り組む。				
【授業内容・授業計画】				
1 鉄骨造模写 平面図・配置図				
2 鉄骨造模写 断面図・立面図				
3 鉄骨造模写 矩計図				
4 町家のリノベーション				

【科目名】		【履修学年】	【必修選択】	【担当教員】
2	設計製図2	2年前期	必修	香西 克彦 円満字 洋介
		【週時間数】	【単位数】	
		8	8	
【授業の目的】				
RC造の理解を通して、より規模の大きなかつ複雑な建造物に対処できる力の修得。				
【授業の概要】				
RC造の実際を、前半の模写、後半の自由設計により学びながら、建築設計に関する一通りの知識・技術の習得を目指す。				
【授業内容・授業計画】				
1 RC造(模写) 平面図				
2 RC造(模写) 配置図、立面図				
3 RC造(模写) 断面図、矩計図				
4 自由設計 Pocket Park				
5 RC造設計 公共図書館				

【科目名】		【履修学年】	【必修選択】	【担当教員】
3 A	C A D情報 A	1 年前期	必修	山口 英樹 (実務経験有)
		【週時間数】	【単位数】	
		2	2	
【授業の目的】				
コンピュータの基礎知識を学び、建築CADによる製図法を習得する。				
【授業の概要】				
2次元CADのJW_CADを主に用い建築CADの基本操作を学び、基本図面のトレースが出来る技術を身につける。				
【授業内容・授業計画】				
1 CADとは何か。設計(デザイン)とは。 2 JW_CADの基本操作の練習 1 3 JW_CADの基本操作の練習 2 4 JW_CADの基本操作の練習 3 5 マンション平面図(1/100)の作成実習 1 6 マンション平面図(1/100)の作成実習 2 7 マンション平面図(1/100)の作成実習 3 8 敷地図、日影図、設備図の作成実習 1 9 敷地図、日影図、設備図の作成実習 2 10 立面図作成実習による各種コマンドの復習と印刷の練習 1 11 簡易パース作成実習によるパース図作成練習 1 12 木造住宅の平面詳細図(1/50)作成実習 1 13 木造住宅の平面詳細図(1/50)作成実習 2 14 まとめ解説、試験説明 15 試験 16 試験問題の解答と解説 17 補講 18 補講				
【成績評価】				
試験による成績に、出席状況および授業中の課題の出来を加味する。				
【テキスト】				
「Jw_cad 徹底解説(操作解説編)」(エクスナレッジ)				
【備考】				
CAD未経験者を対象とし、初歩からの解説を行いますが、CAD経験者には追加課題を予定しています。				

【科目名】		【履修学年】	【必修選択】	【担当教員】
3 B	C A D 情報 B	1年後期	必修	山口 英樹 (実務経験有)
		【週時間数】	【単位数】	
		2	2	
【授業の目的】				
建築CADの基礎知識の修得と操作能力を身につけ建築設計への応用、プレゼンテーション作成等の技術を身につけることを目的とする。				
【授業の概要】				
後期は、主に自由設計の木造住宅をCAD表現すると共に、木構造の授業で学んだ知識で、構造設計を行い、CADで表現する。又、3D-CADの基本操作を学ぶ。				
【授業内容・授業計画】				
1 自由設計の木造住宅をCADで表現する。 平面図1				
2 同上課題 平面図2				
3 同上課題 平面図3				
4 同上課題 平面図4				
5 同上課題 立面図、断面図				
6 Sketcu Up チュートリアル				
7 Sketcu Up 基礎課題1				
8 Sketcu Up 基礎課題2				
9 jw_cad 応用(画像貼り付け、外部変形)				
10 jw_cad と Sketcu Up の連携				
11 自由設計の住宅を構造設計し、CAD表現。 必要壁量計算				
12 同上課題 耐力壁の配置と存在壁量				
13 プレゼン表現				
14 まとめ、試験説明				
15 試験				
16 試験問題の解答と解説				
17 補講				
18 補講				
【成績評価】				
試験による成績に、出席状況および授業中の課題の出来を加味する。				
【テキスト】				
「Jw_cad 徹底解説(操作解説編)」(エクスナレッジ)、プリント配布				
【備考】				
CAD未経験者を対象とし、初歩からの解説を行います。CAD経験者には追加課題を予定しています。				

【科目名】		【履修学年】	【必修選択】	【担当教員】
4	建築計画	1年前期	必修	香西 克彦
		【週時間数】	【単位数】	
		2	2	
【授業の目的】				
建築設計に直結する計画学の基本を学ぶ。				
【授業の概要】				
人間の生活・行動・意識と空間との対応関係から建築計画にアプローチする。				
【授業内容・授業計画】				
1 計画概論				
2 ミニマムな計画				
3 住生活の諸機能(人間工学)				
4 住空間の諸機能(単位空間)				
5 身近な建物から				
6 建築計画の手法1(ゾーニング)				
7 //				
8 建築計画の手法2(動線計画)				
9 //				
10 建築計画の手法3(機能図)				
11 //				
12 配置・平面計画				
13 構造計画				
14 設備・構法・材料等				
15 試験				
16 試験問題の解答と解説				
17 補講(全員)				
18 補講(全員)				
【成績評価】				
期末試験、提出課題、出席状況等を総合して評価する。				
【テキスト】				
「初学者の建築講座 建築計画」(市ヶ谷出版社)				
「コンパクト建築設計資料集成」(丸善)				
【備考】				

【科目名】		【履修学年】	【必修選択】	【担当教員】
5	計画演習	1年後期	必修	香西 克彦
		【週時間数】	【単位数】	
		2	2	
【授業の目的】				
建築計画を実践的に建築設計を通して学ぶ。				
【授業の概要】				
建築計画を実例研究と課題演習を通じて習得する。				
【授業内容・授業計画】				
1 居住施設(集合住宅、ホテル等)				
2 //				
3 事務所、百貨店、スーパーマーケット				
4 //				
5 教育施設(保育所、幼稚園、学校等)				
6 //				
7 医療・福祉施設(診療所、病院、老人ホーム等)				
8 //				
9 展示施設(図書館、美術館、博物館等)				
10 //				
11 文化施設(映画館、音楽ホール、体育施設等)				
12 //				
13 都市・地域・景観計画				
14 //				
15 試験				
16 試験問題の解答と解説				
17 補講－作品発表会(全員)				
18 補講－作品発表会(全員)				
【成績評価】				
期末試験、提出課題、出席状況等を総合して評価する。				
【参考図書】				
「初学者の建築講座 建築計画」(市ヶ谷出版社)				
「コンパクト建築設計資料集成」(丸善)				
【備考】				

【科目名】		【履修学年】	【必修選択】	【担当教員】
6	日本建築史	1年前期	必修	桐浴 邦夫
		【週時間数】	【単位数】	
		2	2	
【授業の目的】				
日本における社寺を中心とした建築の歴史を概観し、古建築を見る目を養う。				
【授業の概要】				
古代、中世、近世と社寺を中心に、代表的な建築を紹介しながら、時代背景などとともに日本建築の歴史をたどる。とりわけ時代別の意匠や構造の特徴を学ぶことを重視し、それぞれの建築の見どころを理解する。				
【授業内容・授業計画】				
1 日本建築史概要 2 仏教の伝来1 法隆寺 3 仏教の伝来2 薬師寺 4 仏教の伝来3 唐招提寺・東大寺 5 国風化の建築1 室生寺・当麻寺 6 国風化の建築2 平等院・三仏寺 7 神社建築1 伊勢神宮・出雲大社・住吉大社 8 神社建築2 春日大社・賀茂神社・日吉大社 9 中世の新様式1 大仏様 東大寺・浄土寺 10 中世の新様式2 禅宗様 永保寺・清白寺 11 中世の和様・新和様・折衷様 興福寺・長久寺・観心寺 12 城郭建築 安土城・姫路城・彦根城 13 近世の大規模寺院と黄檗宗の建築 東寺・東大寺・万福寺 14 近世の霊廟建築 日光東照宮 15 試験 16 復習				
【成績評価】				
試験による成績に、出席状況とレポートを加味する。				
【テキスト】				
「日本建築史図集」(彰国社)				
【備考】				

【科目名】		【履修学年】	【必修選択】	【担当教員】
7	住 居 史	1年後期	必修	桐 浴 邦 夫
		【週時間数】	【単位数】	
		2	2	
【授業の目的】				
日本の住居の歴史の概要を理解し、今の我々の住居がどのような経緯で形づくられたのかを理解する。				
【授業の概要】				
日本住宅の二大様式である寝殿造と書院造を中心に、宮殿建築、町家・民家、茶室・数寄屋造について学ぶ。				
【授業内容・授業計画】				
1 住居史概要／先史時代の住居 2 古代の都と都市 3 寝殿造 4 寝殿造の変遷 5 寝殿造から書院造へ 6 初期の書院造 7 書院造の発展 二条城二ノ丸御殿 8 茶室の発生 9 寝殿造から書院造へ 10 民家と町家 全国各地の民家と町家 11 近畿の町家と民家 12 極小の空間・もてなしの空間 茶室の大成 13 数寄屋風書院造 桂離宮・修学院離宮 14 茶室の展開 世界的な視点で 15 試験 16 復習				
【成績評価】				
試験による成績に、出席状況とレポートを加味する。				
【テキスト】				
「日本建築史図集」(彰国社)				
【備考】				

【科目名】		【履修学年】	【必修選択】	【担当教員】
8A	環境工学A	1年前期	必修	中 美加子 (実務経験有)
		【週時間数】	【単位数】	
		2	2	
【授業の目的】				
光・空気・熱・音などの建築環境に関する基本的事項を理解する。 ヒトにとっての「快適」な感覚と、その物理的、工学的な対応を学ぶ。				
【授業の概要】				
建築物に大きく影響を及ぼす外気や日射の年変動・日変動を理解する。 室内の熱・湿気環境について、その現象の発生要因と対応を理解する。 二級建築士合格レベルに達するべく、基本知識と応用力、計算力を身に付ける。				
【授業内容・授業計画】				
1 建築環境工学 概論 2 太陽の位置 3 日照・日影 4 日射 5 測光量 6 採光 7 人工照明 8 色彩 9 空気の質・換気量 10 換気方式・シックハウス 11 自然換気 12 機械換気 13 季節変化と地域特性 14 都市環境と地球環境 15 試験 16 試験問題の解答と解説 17 補習 18 補習				
【成績評価】				
試験の結果に出席状況を加味する。				
【テキスト】				
「初学者の建築講座 建築環境工学(第三版)」(市ヶ谷出版社)				
【備考】				

【科目名】		【履修学年】	【必修選択】	【担当教員】
8B	環境工学B	1年後期	必修	中 美加子 (実務経験有)
		【週時間数】	【単位数】	
		2	2	
【授業の目的】				
熱・空気・音・光などの室内環境に関する基本的事項を理解する。 ヒトにとっての「快適」な感覚と、その物理的、工学的な対応を学ぶ。				
【授業の概要】				
室内の空気質・音・光・色彩環境について、その現象の発生要因と対応を理解する。 二級建築士合格レベルに達するべく、基本知識と応用力、計算力を身に付ける。				
【授業内容・授業計画】				
1 熱の伝わり方 2 熱貫流と断熱 3 日射と熱環境 4 建物の熱特性 5 湿り空気と露点温度 6 結露のしくみと対策 7 人体と温熱環境 8 温熱感覚指標 9 音のしくみ 10 音の単位 11 騒音と遮音 12 室内音響の評価 13 音響計画 14 まとめ 15 試験 16 試験問題の解答と解説 17 補習 18 補習				
【成績評価】				
試験の結果に出席状況を加味する。				
【テキスト】				
「初学者の建築講座 建築環境工学(第三版)」(市ヶ谷出版社)				
【備考】				

【科目名】		【履修学年】	【必修選択】	【担当教員】
9A	建築設備A	2年前期	必修	中 美加子 (実務経験有)
		【週時間数】	【単位数】	
		2	2	
【授業の目的】				
建築設備とはなにか？ また、建築設備の用語やしゅくみなど、基本的な知識について学ぶ。				
【授業の概要】				
前期では給排水設備、給湯設備について学ぶ。教科書やプリント、スライドを用いて講義する。 各单元ごとに小テストを行い、講義内容の理解を深める。				
【授業内容・授業計画】				
1 建築設備の概要 2 給排水設備 1 水の性質 3 給排水設備 2 給水方法 4 給排水設備 3 給水方法 5 給排水設備 4 給湯設備 6 給排水設備 5 排水設備 7 給排水設備 6 排水設備 8 給排水設備 7 ガス/衛生設備 9 給排水設備 8 まとめ 10 空調設備 1 空気の性質 11 空調設備 2 空調負荷 12 空調設備 3 空調方式 13 空調設備 4 熱源 14 空調設備 5 熱源 15 前期試験 16 試験問題の解答と解説 17 補習1 18 補習2				
【成績評価】				
出席点＋小テストの得点＋前期試験の得点				
【テキスト】				
「初学者の建築講座 建築設備(第三版)」(市ヶ谷出版社)				
【備考】				

【科目名】		【履修学年】	【必修選択】	【担当教員】
9B	建築設備B	2年後期	必修	中 美加子 (実務経験有)
		【週時間数】	【単位数】	
		2	2	
【授業の目的】				
建築設備を考える上で必要な知識について学ぶ。 また、省エネについても学ぶ。				
【授業の概要】				
後期では換気設備や電気設備について学ぶ。教科書やプリント、スライドを用いて講義する。 各單元ごとに小テストを行い、講義内容の理解を深める。				
【授業内容・授業計画】				
1 空調設備 6 搬送・自動制御 2 空調設備 7 換気 3 空調設備 8 まとめ 4 電気設備 1 電気の基本 5 電気設備 2 引込・配線 6 電気設備 3 照明 7 電気設備 4 通信・まとめ 8 搬送設備 9 防災設備 10 消火設備 11 省エネ 1 12 省エネ 2 13 設備計画 14 設備図 15 後期試験 16 試験問題の解答と解説 17 補習1 18 補習2				
【成績評価】				
出席点＋小テストの得点＋前期試験の得点				
【テキスト】				
「初学者の建築講座 建築設備(第三版)」(市ヶ谷出版社)				
【備考】				

【科目名】		【履修学年】	【必修選択】	【担当教員】
10A	構造力学ⅠA	1年前期	必修	浅野 清昭 (実務経験有)
		【週時間数】	【単位数】	
		2	2	
【授業の目的】				
構造力学の基礎である力を理解し、様々な構造体の支点到に生じる反力・応力を力の釣り合い式によって算定する方法を学習する。				
【授業の概要】				
力とは何かを、身近な現象を通して理解し、力の釣り合いによって構造物が成立していることを理解する。また、様々な構造体の特徴を理解し、それらの構造物の支点到に生じる反力・部材の中に生じる力の算定方法を学習する。				
【授業内容・授業計画】				
1 力・力のモーメント 2 力の釣り合い1 3 力の釣り合い2 4 力の基礎のまとめ 5 中間試験 6 反力(単純梁) 7 反力(片持ち梁) 8 反力(張り出し梁・ラーメン) 9 反力のまとめ 10 応力(集中荷重) 11 応力(分布荷重) 12 応力(モーメント荷重) 13 応力のまとめ 14 前期のまとめ 15 試験 16 試験問題の解答と解説 17 補習 18 補習・追試験				
【成績評価】				
試験による成績に、出席状況および授業時間内の課題の成績を加味する。				
【テキスト】				
改訂版「図説やさしい構造力学」(学芸出版社)				
【備考】				

【科目名】		【履修学年】	【必修選択】	【担当教員】
10B	構造力学ⅠB	1年後期	必修	浅野 清昭 (実務経験有)
		【週時間数】	【単位数】	
		2	2	
【授業の目的】				
構造力学1Aで学習した反力をもとに、力(外力)によって構造体(部材)内生じる力(応力・応力度)を理解し、その算定方法を学習する。				
【授業の概要】				
構造物の中に生じる力(応力・応力度)にはどのようなものがあり、どのように生じているのかを理解する。また、許容応力度設計の概要について学習する。				
【授業内容・授業計画】				
1 前期の復習 2 梁の応力 3 ラーメンの応力 4 3ヒンジラーメンの反力と応力 5 応力のまとめ 6 中間試験 7 断面1次モーメント・図心 8 断面2次モーメント・断面係数 9 断面のまとめ 10 軸応力度・伸び 11 曲げ応力度・せん断応力度 12 許容応力度 13 組み合わせ応力度 14 後期のまとめ 15 試験 16 試験問題の解答と解説 17 補習 18 補習・追試験				
【成績評価】				
試験による成績に、出席状況および授業時間内の課題の成績を加味する。				
【テキスト】				
改訂版「図説やさしい構造力学」(学芸出版社)				
【備考】				

【科目名】		【履修学年】	【必修選択】	【担当教員】
11A	構造力学ⅡA	2年前期	必修	浅野 清昭 (実務経験有)
		【週時間数】	【単位数】	
		2	2	
【授業の目的】				
鉄骨構造とその問題点について学習する。応力・変形量の算定を通して問題点の解決法を考察する。後期「鉄骨構造」に関連した基礎知識となる。				
【授業の概要】				
鉄骨構造をイメージし、橋・大空間に用いられるトラスの解法、鉄骨構造で問題となる柱の座屈、梁のたわみについて解法を学習する。また、保有水平耐力算定を目的とする塑性解析についてその基礎的な部分を学習する。				
【授業内容・授業計画】				
1 許容応力度設計の復習 2 トラス(節点法) 3 トラス(切断法) 4 トラスのまとめ 5 トラス(問題演習) 6 中間試験 7 座屈(弾性座屈荷重) 8 座屈(問題演習) 9 部材の変形(たわみ・たわみ角式) 10 部材の変形(たわみの求め方) 11 座屈・部材の変形のまとめ 12 塑性解析(全塑性モーメント) 13 塑性解析(崩壊荷重) 14 前期のまとめ 15 試験 16 試験問題の解答と解説 17 補習 18 補習・追試験				
【成績評価】				
中間・期末試験による成績に、出席状況および授業時間内の課題の成績を加味する。				
【テキスト】				
「図説やさしい構造力学」(学芸出版社)				
【備考】				
1年生で使用したテキスト(図説やさしい構造力学)を引き続き使用します。				

【科目名】		【履修学年】	【必修選択】	【担当教員】
11B	構造力学ⅡB	2年後期	必修	浅野 清昭 (実務経験有)
		【週時間数】	【単位数】	
		2	2	
【授業の目的】				
前半は不静定構造について学習する。不静定構造を解くためにはここまで学習してきた「力の釣り合い」と「変形」の知識が必要となる。 後半は2年間の総復習として、反力から応力度算定までの一連の流れを確認する。				
【授業の概要】				
前半の不静定構造では、固定モーメント法を通して力の伝わり方について学習する。 曲げモーメント図の描き方、応力算定の習得を目標とする。 後半の総復習では、静定構造の一連の解法を問題演習を通して振り返る。				
【授業内容・授業計画】				
1 前期の復習 2 不静定構造(不静定梁の解法) 3 不静定構造(分割・到達モーメント) 4 不静定構造(固定モーメント法) 5 不静定構造(せん断力・軸方向力・反力の算定) 6 不静定構造(ブレース構造) 7 不静定構造のまとめ 8 中間試験 9 総復習(反力・せん断力) 10 総復習(せん断力・曲げモーメント) 11 総復習(トラス) 12 総復習(断面性能) 13 総復習(応力度) 14 後期のまとめ 15 試験 16 試験問題の解答と解説 17 補習 18 補習・追試験				
【成績評価】				
中間・期末試験による成績に、出席状況および授業時間内の課題の成績を加味する。				
【テキスト】				
「図説やさしい構造力学」(学芸出版社)				
【備考】				
1年生で使用したテキスト(図説やさしい構造力学)を引き続き使用します。				

【科目名】		【履修学年】	【必修選択】	【担当教員】
12	建築一般構造	1年前期	必修	山口 英樹 (実務経験有)
		【週時間数】	【単位数】	
		2	2	
【授業の目的】				
木構造・鉄筋コンクリート構造・鉄骨造において、建築材料がどのような仕組みで建築物になるのかという基礎知識を学ぶ。				
【授業の概要】				
主として木造軸組構造についてその構造、仕上げ方法を学習し、その他の枠組壁構造、鉄筋コンクリート、鉄骨造については、基本的な構造の特徴を学ぶ。				
【授業内容・授業計画】				
1 建築構造の歴史、分類方法 2 木構造軸組 3 木構造 地業、基礎 4 木構造 床組 束立床 5 木構造 床組 梁による床 6 木構造 小屋組 和小屋 洋小屋 7 開口部(金属)・(木製) 8 外部仕上(外壁) 9 外部仕上(屋根) 10 内部仕上(床) 11 内部仕上(階段、壁) 12 内部仕上(天井、その他) 13 枠組壁構造の概要、特徴 14 鉄骨構造、鉄筋コンクリート構造の概要、特徴 15 試験 16 試験問題の解答と解説 17 補講 18 補講				
【成績評価】				
試験による成績に、出席状況を加味する。				
【テキスト】				
「建築構造」(実教出版) 「必携建築資料」(実教出版)				
【備考】				

【科目名】		【履修学年】	【必修選択】	【担当教員】
13	木構造	1年後期	必修	山口 英樹 (実務経験有)
		【週時間数】	【単位数】	
		2	2	
【授業の目的】				
木造軸組工法の概要を知ると共に設計法を学ぶ				
【授業の概要】				
木造2階建て(軸組工法)の確認申請に必要な程度の構造知識と性能表示制度の構造検討が出来るようになる。				
【授業内容・授業計画】				
1 木構造概論(構造の歴史、木構造の種類)、木構造 材料について				
2 建築基準法による耐力壁 壁量計算				
3 建築基準法による必要壁量(地震、風)				
4 性能表示制度による壁量計算(準耐力壁等)				
5 性能表示制度による必要壁量(地震、風)				
6 バランスの良い耐力壁配置 検討方法				
7 床の検討(必要床倍率)				
8 床の検討(存在床倍率)				
9 床倍率による設計法まとめ				
10 横架材設計方法				
11 N値計算による金物設計解説				
12 梁伏図の作図				
13 木造基礎設計、地盤調査方法				
14 まとめ、試験説明				
15 試験				
16 試験問題の解答と解説				
17 補講				
18 補講				
【成績評価】				
試験による成績に、出席状況および授業中の課題の出来を加味する。				
【テキスト】				
プリント配布				
【備考】				

【科目名】		【履修学年】	【必修選択】	【担当教員】
14	鉄筋コンクリート構造	2年前期	必修	浅野 清昭 (実務経験有)
		【週時間数】	【単位数】	
		2	2	
【授業の目的】				
鉄筋コンクリート構造の工法、構造計画、構造計算の基礎知識を得る。				
【授業の概要】				
日本における構造設計の流れを解説。鉛直荷重、地震力、風荷重の求め方を解説したのち、鉄筋コンクリート構造の大梁、柱、スラブ、基礎の構造設計法を学ぶ。				
【授業内容・授業計画】				
1 日本の構造設計の全体像について 2 固定荷重、積載荷重、積雪荷重の算定法について 3 風圧力の算定法について 4 地震力の算定法について 5 鉄筋コンクリート構造の材料について 6 鉄筋コンクリート構造の構造計画 7 大梁の断面算定 その1 8 大梁の断面算定 その2 9 柱の断面算定 その1 10 柱の断面算定 その2 11 せん断補強筋の算定 12 床スラブの断面算定 13 地盤について 基礎の断面算定 14 鉄筋コンクリート造のまとめ 15 試験 16 試験問題の解答と解説 17 補習 18 補習・追試験				
【成績評価】				
試験による成績に、出席状況および授業中の課題の出来を加味する。				
【テキスト】				
改訂版「図説やさしい構造設計」(学芸出版社)				
【備考】				

【科目名】		【履修学年】	【必修選択】	【担当教員】
15	鉄骨構造	2年後期	必修	加藤 康晴 (実務経験有)
		【週時間数】	【単位数】	
		2	2	
【授業の目的】				
鉄筋コンクリート構造の構造上の特徴を把握し、構造計画の基本を理解する。また、構造上の構成要素について、許容応力度計算の基本を理解する。				
【授業の概要】				
構造要素を構成する材料の特徴や強度を把握し、それらに生じる応力と、応力に対する抵抗のメカニズム及び許容応力度計算の基本を演習を行いながら学ぶ。また建築設計における重要な構造計画上のポイントを把握する。				
【授業内容・授業計画】				
1 鉄骨構造の特徴とそれを踏まえた構造計画の基本 2 鉄骨構造の計算の流れ 3 鋼材の種類及び材料定数 4 鋼材の強度種別と許容応力度 5 鋼材の形状と断面性能 6 引張材の設計 7 圧縮材の設計(1) 8 圧縮材の設計(2) 9 梁材の設計(1) 10 梁材の設計(2) 11 梁材の設計(3) 12 地盤の液状化について 13 地震力の算定 14 一貫構造計算ソフトの概要 15 試験 16 試験の解答と解説 17 試験後補習授業(1) 18 試験後補習授業(2)				
【成績評価】				
試験による成績に、出席状況および演習課題の評価を加味する。				
【テキスト】				
「建築構造設計」(実教出版)				
【備考】				

【科目名】		【履修学年】	【必修選択】	【担当教員】
16	木質材料	1年前期	必修	杉 江 崇 (実務経験有)
		【週時間数】	【単位数】	
		2	2	
【授業の目的】				
建築材料の物理的、化学的性質、製法、その他特性を知り、適材適所の使用を理解する。				
【授業の概要】				
木質構造を中心に、焼成材(瓦など)、ガラス、石材、左官材料といった木造建築物に関連の深い材料を取り扱う。実物サンプルや実験データ、実例写真等を通して、体系的に学習する。				
【授業内容・授業計画】				
1 建築材料概要 2 木材の種類／木材の特徴 3 木材の構造 4 木材の強度 5 木材と水分 6 木取り・規格・等級／木材の欠点 7 エンジニアリングウッド 8 木材を使った骨組1 9 木材を使った骨組2 10 焼成材 11 ガラス 12 石材 13 左官材料 14 部位別材料 床／壁／天井 15 試験 16 試験問題の解答と解説 17 補習 18 補習・追試験				
【成績評価】				
試験による成績に、出席状況および授業中の課題の出来を加味する。				
【テキスト】				
改訂版「図説やさしい建築材料」(学芸出版社)				
【備考】				

【科目名】		【履修学年】	【必修選択】	【担当教員】
17	建築材料	1年後期	必修	杉 江 崇 (実務経験有)
		【週時間数】	【単位数】	
		2	2	
【授業の目的】				
建築材料の物理的、化学的性質、製法、その他特性を知り、適材適所の使用を理解する。				
【授業の概要】				
コンクリート、鋼材を中心にその他材料を取り扱う。実物サンプルや実験データ、実例写真等を通して、体系的に学習する。				
【授業内容・授業計画】				
1 コンクリートの概要／セメント 2 骨材／水／混和材料 3 コンクリートの性質 4 コンクリートの調合設計 5 コンクリート圧縮試験 6 コンクリートの種類／製品 7 鋼材の概要／製鋼の工程 8 製鋼の特徴／種類 9 鋼材の性質 10 鋼材の腐食と防食／鋼材の規格 11 非鉄金属 12 ボード類／プラスチック材料／塗料、接着剤 13 性能別材料 14 まとめ・演習 15 試験 16 試験問題の解答と解説 17 補習 18 補習・追試験				
【成績評価】				
試験による成績に、出席状況および授業中の課題の出来を加味する。				
【テキスト】				
改訂版「図説やさしい建築材料」(学芸出版社)				
【備考】				

【科目名】		【履修学年】	【必修選択】	【担当教員】
18A	建築施工法A	2年前期	必修	浜 野 豪 (実務経験有)
		【週時間数】	【単位数】	
		2	2	
【授業の目的】				
建築の生産の基本、順序、工事別の施工技術を理解し、建築の品質向上に努める。				
【授業の概要】				
工事順序に従った授業を行い、各工事の施工ポイントを理解する。また、施工図を描くことで建物を造ることへの理解と関心を深める。				
【授業内容・授業計画】				
1 施工について				
2 施工管理、施工計画				
3 仮設工事				
4 地盤調査				
5 土留め				
6 基礎工事				
7 鉄筋工事				
8 型枠工事				
9 コンクリート工事				
10 鉄骨工事				
11 前期試験				
12 補講				
13 施工図1(木造伏図)				
14 //				
15 //				
【成績評価】				
試験による成績に、出席状況、課題点を加味する。				
【テキスト】				
「専門士課程 建築施工」(学芸出版社)				
【備考】				

【科目名】		【履修学年】	【必修選択】	【担当教員】
18B	建築施工法B	2年後期	必修	浜 野 豪 (実務経験有)
		【週時間数】	【単位数】	
		2	2	
【授業の目的】				
建築の生産の基本、順序、工事別の施工技術を理解し、建築の品質向上に努める。				
【授業の概要】				
工事順序に従った授業を行い、各工事の施工ポイントを理解する。また、施工図を描くことで建物を造ることへの理解と関心を深める。				
【授業内容・授業計画】				
1 組積工事 2 防水工事 3 木工事 4 屋根工事 5 左官工事 6 石、タイル工事 7 塗装、内装工事 8 建具工事 9 施工図3(建具廻り原寸図) 10 " 11 " 12 後期試験 13 補講				
【成績評価】				
試験による成績に、出席状況、課題点を加味する。				
【テキスト】				
「専門士課程 建築施工」(学芸出版社)				
【備考】				

【科目名】		【履修学年】	【必修選択】	【担当教員】
19A	建築積算A	2年前期	必修	浜 野 豪 (実務経験有)
		【週時間数】	【単位数】	
		2	2	
【授業の目的】				
各種工事の数量算出方法を知り、工事費の構成を理解する。				
【授業の概要】				
各種工事の概要を説明し、演習を行って数量算出の理解を深める。				
【授業内容・授業計画】				
1 設計図書の読み方				
2 仮設工事				
3 土工事				
4 基礎工事				
5 躯体工事				

【科目名】		【履修学年】	【必修選択】	【担当教員】
19B	建築積算B	2年後期	必修	浜 野 豪 (実務経験有)
		【週時間数】	【単位数】	
		2	2	
【授業の目的】				
各種工事の数量算出方法を知り、工事費の構成を理解する。				
【授業の概要】				
各種工事の概要を説明し、演習を行って数量算出の理解を深める。				
【授業内容・授業計画】				
1 外装工事 2 内装工事 3 雑工事				

【科目名】		【履修学年】	【必修選択】	【担当教員】
20A	建築法規A	2年前期	必修	永 良 勲 (実務経験有)
		【週時間数】	【単位数】	
		2	2	
【授業の目的】				
実務に使える建築法規について基本的事項を理解、二級建築士学科試験にも使える知識を習得する				
【授業の概要】				
建築基準法について、何故？目的を意識しながら、法令集の読み方について学習				
【授業内容・授業計画】				
1 総則規定(法律の体系・構成、用語の定義-1) 2 総則規定(用途の定義-2) 3 総則規定(面積・高さの算定方法)-1 4 総則規定(面積・高さの算定方法)-2 5 制度規定(確認申請) 6 制度規定(その他の確認と手続き) 7 制度規定(用途制限) 8 集団規定(道路) 9 集団規定(建ぺい率と緩和) 10 集団規定(容積率と緩和) 11 集団規定(絶対高さと道路斜線) 12 集団規定(隣地斜線と北側斜線) 13 集団規定(日影規制と防火地域) 14 集団規定(地区計画、建築協定、景観地区、風致地区等)と復習 15 前期試験 16 試験解説 17 補習 18 補習				
【成績評価】				
試験による成績に、出席状況を加味する。				
【テキスト】				
「2021年度 建築関係法令集 法令編」(総合資格) 「図説 やさしい建築法規」(学芸出版社)				
【備考】				

【科目名】		【履修学年】	【必修選択】	【担当教員】
20B	建築法規B	2年後期	必修	永 良 勲 (実務経験有)
		【週時間数】	【単位数】	
		2	2	
【授業の目的】				
実務に使える建築法規について基本的事項を理解、二級建築士学科試験にも使える知識を習得する				
【授業の概要】				
建築基準法について、何故？目的を意識しながら、法令集の読み方について学習				
【授業内容・授業計画】				
1 単体規定(居室の採光) 2 単体規定(換気、シックハウス) 3 単体規定(天井高、床高、便所、遮音、階段) 4 単体規定 (耐火、防火-1) 5 単体規定 (耐火、防火-2) 6 単体規定(避難 廊下、直通階段、出入口) 7 単体規定(避難 2以上の直通階段、避難階段) 8 単体規定(排煙設備、非常用照明、非常用進入口) 9 単体規定(防火区画) 10 単体規定 (防火壁、防火上主要間仕切、敷地内通路) 11 単体規定(内装制限) 12 単体規定(構造強度、既存不適格) 13 関係法令 (消防法、建築士法、都市計画法、建設業法) 14 後期総括(復習) 15 後期試験 16 試験解説 17 補習(追試等含む) 18 補習(追試等含む)				
【成績評価】				
試験による成績に、出席状況を加味する。				
【テキスト】				
「2021年度 建築関係法令集 法令編」(総合資格) 「図説 やさしい建築法規」(学芸出版社)				
【備考】				

【科目名】		【履修学年】	【必修選択】	【担当教員】
21 A	C A D 演習 A	2 年 前 期	必修	山口 英樹 (実務経験有)
		【週時間数】	【単位数】	
		隔土4	2	
【授業の目的】				
CADによる2次元製図、3次元CGおよびプレゼンテーションの実践力を身に付け、卒業設計に活用する。				
【授業の概要】				
3次元CADソフト(SketchUp)の基礎的な操作方法を学習する。				
【授業内容・授業計画】				
1 CADによる製図概論 2 SketchUp基本コマンド、基本課題 3 ミースのファンズワース邸モデリング 4 同上 応用課題(フレームを利用し自由設計) 5 住吉の長屋モデリング1 6 住吉の長屋モデリング2 7 Times敷地における公園設計 モデリング 8 プレゼンテーションテクニック 9 試験 10 試験問題の解答と解説 11 補講				
【成績評価】				
授業中の課題の出来に出席状況、試験による成績を加味する。				
【テキスト】				
決まったテキストは使用しません。授業ごとに必要な資料やデータを配布。 解説本がほしい方は、何種類か販売されているので、自主購入。				
【備考】				

【科目名】		【履修学年】	【必修選択】	【担当教員】
21B	C A D演習B	2年後期	必修	山口 英樹 (実務経験有)
		【週時間数】	【単位数】	
		隔土4	2	
【授業の目的】				
CADによる2次元製図、3次元CGおよびプレゼンテーションの実践力を身に付け、卒業設計に活用する。				
【授業の概要】				
3次元CADソフト SketchUp, Twilight Render等を活用し、実践的なプレゼンテーションテクニックを身につけ、卒業制作に活用する。				
【授業内容・授業計画】				
1 プラグイン活用法 2 外観写真から3Dモデリング 3 等高線から3D地形作成 4 地図データから2D、3D地図作成 5 夜景、照明によるレンダリング方法解説 6 アニメーション作成方法解説 7 卒業制作 CAD、CG表現 8 プレゼンテーションテクニック 9 試験又は合評による採点 10 試験問題の解答と解説 11 補講				
【成績評価】				
授業中の課題の出来に出席状況、試験による成績を加味する。				
【テキスト】				
決まったテキストは使用しません。授業ごとに必要な資料やデータを配布。 解説本がほしい方は、何種類か販売されているので、自主購入。				
【備考】				

【科目名】		【履修学年】	【必修選択】	【担当教員】
22	意匠演習	1年前期	必修	山 本 豊 (実務経験有)
		【週時間数】	【単位数】	
		隔土2	1	
【授業の目的】				
透視図の作成を行うことにより、立体的な表現と形の見え方を理解する				
【授業の概要】				
作成にあたり、授業開始時に手順や図法の説明を行う。平面図と展開図のつながりを理解し、透視図を描く。 手で書く実習をすることで、現場で対応できる表現技術を習得する。				
【授業内容・授業計画】				
1 透視図の概要				
2 一点透視図の作成(室内1)				
3 一点透視図の作成(室内2)				
4 一点透視図の作成(室内3)				
5 一点透視図の作成(建物の近景1)				
6 二点透視図の作成(建物の近景1)				
7 二点透視図の作成(建物の近景2)				
8 総復習				
9 試験				

【科目名】		【履修学年】	【必修選択】	【担当教員】
23A	建築測量A	1年前期	必修	城市 智幸
		【週時間数】	【単位数】	
		隔土2	2	
【授業の目的】				
測量学の基礎を学ぶ				
【授業の概要】				
各種の測量における注意点・方法・使用目的などを理解する。				
【授業内容・授業計画】				
1 ガイダンス・総論				
2 平板測量				
3 平板測量(平板測量実習)				
4 トランシット測量				
5 トランシット測量(トランシット測量実習)				
6 前期演習(平板測量・トランシット測量)				
7 前期まとめ				
8 前期試験				
9 試験解説				
10 補講				

【科目名】		【履修学年】	【必修選択】	【担当教員】
23B	建築測量B	1年後期	必修	城市 智幸
		【週時間数】	【単位数】	
		隔土2	2	
【授業の目的】				
測量学の基礎を学ぶ				
【授業の概要】				
各種の測量における注意点・方法・使用目的などを理解する。				
【授業内容・授業計画】				
1 距離測量				
2 水準測量				
3 水準測量				
4 面積の計算				
5 面積の計算				
6 測定の誤差				
7 後期演習(距離測量・水準測量・面積の計算・測定の誤差)				
8 後期まとめ				
9 後期試験				
10 試験解説				
11 補講				

【科目名】		【履修学年】	【必修選択】	【担当教員】
24	インテリアデザイン	1年後期	必修	山 本 豊 (実務経験有)
		【週時間数】	【単位数】	
		隔土2	1	
【授業の目的】				
西欧、近代日本におけるデザインの流れを概観し、インテリア計画の手法を理解する				
【授業の概要】				
西欧や日本のインテリアの思想とデザインについて講義する。住まいの中にある建築の演出要素について考える。				
【授業内容・授業計画】				
1 インテリアデザインの概要 2 西欧のデザインの系譜 3 近代日本のデザインの系譜 4 住宅における生活行為 5 部屋の構成と家具の配置計画 6 インテリアの演出1 7 インテリアの演出2 8 総復習とイメージボードの作成 9 試験				
【成績評価】				
試験による成績に、出席状況およびレポートを加味する。				
【テキスト】				
「インテリア計画の知識」(彰国社)				
【備考】				

【科目名】		【履修学年】	【必修選択】	【担当教員】
25	卒業設計	2年後期	必修	香西 克彦 円満字 洋介
		【週時間数】	【単位数】	
		8	8	
【授業の目的】				
ここまで学んだ建築知識・技術を集大成し、卒業設計という形で表現する。				
【授業の概要】				
建築に関する全知識の集大成として、卒業設計を完成し、各自プレゼンテーションを行う。技術的側面ばかりではなく、表現面においても社会に対してなんらかの提案となることが求められている。				
【授業内容・授業計画】				
1 卒業設計 2 卒業設計発表会				
</				

【科目名】		【履修学年】	【必修選択】	【担当教員】
26	西洋建築史	1年前・後期	選択	桐浴 邦夫
		【週時間数】	【単位数】	
		2	2	
【授業の目的】				
西洋建築の諸相を歴史的に概観することによって、西洋建築の総括的な理解を目指す。				
【授業の概要】				
古代エジプト・オリエントそしてギリシア建築を取り上げたのち、西ヨーロッパを中心に19世紀まで順を追って解説する。				
【授業内容・授業計画】				
1 古代エジプト・オリエント 2 古代ギリシア 3 古代ローマ 4 初期キリスト教 5 ビザンティン 6 ロマネスク 7 ゴシック 8 ルネサンス 9 バロック 10 ロココ 11 新古典主義 12 様式建築				
【成績評価】				
毎回のレポート				
【テキスト】				
プリントを使用 参考文献として「西洋建築史図集」(彰国社)				
【備考】				
前期および後期 オンマインド形式(遠隔授業)				

【科目名】		【履修学年】	【必修選択】	【担当教員】
27	近代建築史	2年前・後期	選択	桐浴 邦夫
		【週時間数】	【単位数】	
		2	2	
【授業の目的】				
近代建築を概観し、現在の我々をとりまく建築がどのような経緯でつくられてきたのかを理解する。				
【授業の概要】				
西洋と日本の近代における建築の展開を概観する。西洋に起こった産業革命は、19世紀末の造形運動、モダニズムへと続く。一方、日本建築は西洋の影響を受けながら発展するが、逆に西洋の近代建築に影響を与える、といった側面もあった。				
【授業内容・授業計画】				
1 近代建築史概観 2 近世から近代へ 3 産業革命と建築 4 日本における西洋建築の受容 5 都市の近代的再編 6 19世紀末から20世紀初頭の造形運動 7 造形運動の日本への影響 8 アメリカにおける近代建築 9 近代主義建築の成立と広がり 10 日本の近代主義建築 11 歴史様式とアールデコ 12 近代主義建築の成熟と変容 13 日本の伝統建築と近代				
【成績評価】				
毎回のレポート				
【テキスト】				
プリントを用意する 参考文献として「近代建築史図集」(彰国社)				
【備考】				
前期および後期:オンマインド形式(遠隔授業) 西洋建築史を受講したあとが望ましい。				